



若基小だより

第6号 令和2年7月17日

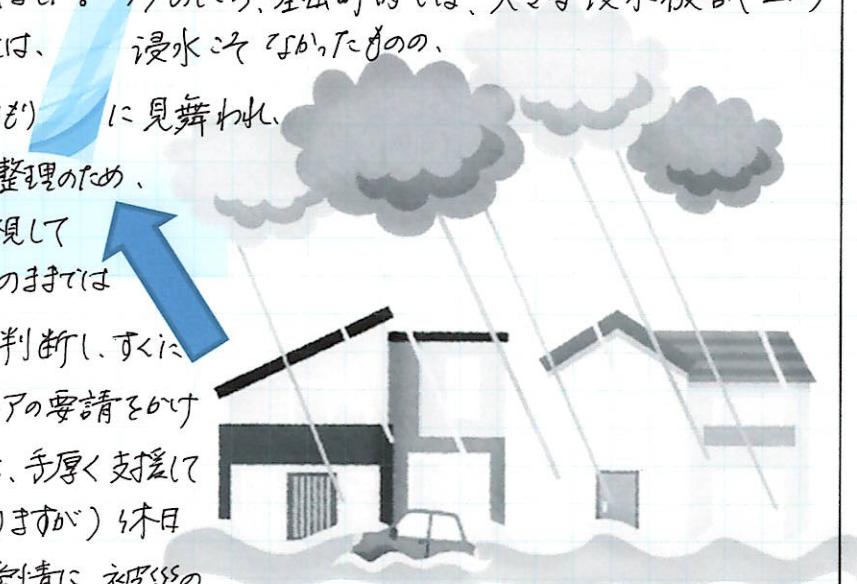
文責 校長 本村一浩

◆ 夏が来ました!!

本日、7/17(金)の朝は、又々晴れて、陽光が戻って来た感じです。けやきの並木で盛んに鳴くセミの声が響いています。登校する子供たちの背筋を伸ばして、足取りも少し軽やかに見えました。6月末から相次ぐ大雨、注意報、警報、避難勧告のお知らせは、コロナ対策に疲れた私たちに重くのしかけてきましたね。さらに、熊本県等、九州各地の被災状況を報道で見るにびく、心がふすがれ思ひがけました。今のところ、基山町内では、大きな浸水被害や土砂災害などはなかったようですが。学校は、浸水で困ったものの、

7/27(土)には、管理棟2階が大きな雨で見舞われ、対応に大忙りでした。その日、残務整理のため、たまたま校内に入っていた教職員が発見してすぐに教頭先生に報告、教頭先生は、このまでは翌週月曜からの授業に支障が出そうと判断し、すぐに町教委に連絡、全教職員にボランティアの要請をかけました。私も急いで学校に駆けつけると、手厚く支援して下る町教委の姿勢と、(手前味噌になりますが)休日返上で現状復帰に勤む先生方の愛情に、被災の対応をしてながらも、少しある嬉しい気持ちになりました。おかげで水浸(じみ)た管理棟2階(特に廊下)が、生活・学習が可能な状態に戻りました。その後、何度か強い降雨がありましたが、大きな被害とはならず、水滴がぽたぽた落らくらの被害で済んでいます。

今年度は、スタートの4月から、コロナウィルス対策、気温が上がりると熱中症対策、そして大雨対策と、児童の安心・安全を脅かすものとの斗争が続いています。保護者様におかれましては、今回の大雨では、7/6(月)、10(金)の下校時のお迎え協力、誠にありがとうございました。これで児童引き渡し訓練を一度もしていない状態での本番となりましたが、事故なく引き渡すことができました。(かしながら、運用面でいくつか課題もありましたので、来年度はその解決を目指し、梅雨に入る前に一度訓練を行いたいと考えています。先日、NHKニュースの被災者の方へのインタビューで、「数十年に一度の大暴雨が何で毎年降るのでしょうか。」と嘆いておられたのが印象的で、正にその通り!と思いました。梅雨の終り、梅雨前線に湿った空気が流れ込んで「線状降雨帯」を作り、大雨を降らせるという気象が、毎年のように見られています。児童が安全に下校できますよう、来年度1学期の土曜日授業の時に引き渡し訓練を行いたいと考えています。どうかご協力をよろしくいただけます。



◆プール学習が始まりました!!

コロナ禍の中、実現できるか不安だったプールの学習が始まりました。何よりも水中での感染が最も心配されました。しかし、5/22付けの文部科学省からの通知によると、「プール水の遊離残留塩素濃度が適切に管理されている場合においては、水中感染のリスクは低い。」との指摘がありました。残留塩素濃度については、コロナ、ひんに関わらず、こ

6/19(金)

4~6年生が
プール掃除を
してくれました。

小→
大
→
アルモ



→
プールサイドを
念入りに



→
床みがき。さながら戦国時代
合戦のようでした。



して、各学年の実情に応じた運用を行っているところです。

水の安全に気を配りつつ、コロナ対策も十分気を付けながらプールでの学習を進めてまいります。

◆コロナ関連、2つのお知らせ

- ① 厚生労働省では、新型コロナウイルスの影響による 小学校の臨時休業等に伴い、保護者として子供の世話をを行うことが必要にならざるに至り、仕事ができない子育て世代を支援し、子供の健康・安全を確保するため、小学校休業対応助成金及び小学校休業対応支援金が創設され、現在申請書の受付が行われているところです。

この助成金・支援金について R2年 6月30日までの対象期間を R2年 9月30日までに延長し、受付期間を R2年 12月 28日まで延期するとともに、上限額の引き上げを行ふこととなりました。このことについて保護者の皆様に周知を行うよう佐賀県教育庁保健体育課から連絡がありましたので、お知らせします。

詳しいは、厚労省のホームページをご覧下さい。→ https://www.mhlw.go.jp/stf/new_page_10718.html

- ② 文部科学省から、全児童に1人1枚マスクをいたしました。
(5月に配布とお知らせしていた物です。)

